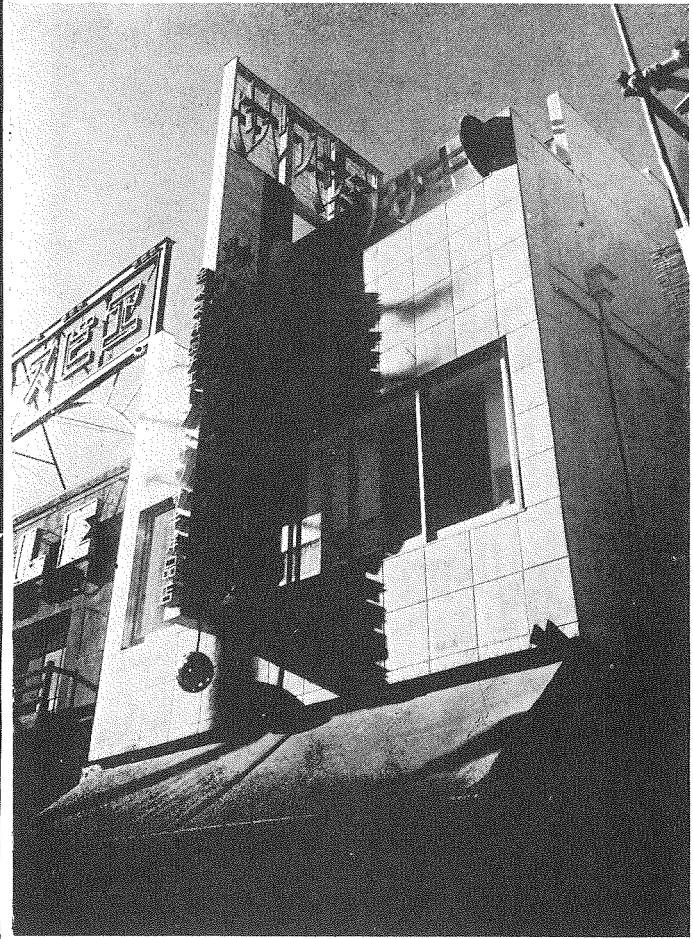


ト
ロ
ツ
ケ
ン
・
ウ
ム
バ
ウ

サ
ワ
サ
キ
洋
品
店



トロッケン・パウ——ドライ・コンストラクション。乾式構築——の名はこの頃方々でかなりひろくいはれる様になりましたが、まだその明確な認識に到達した方はいたつて少なく、またトロッケンパウそのものの技術的研究も、極く初期の状態にあるため、ある人達からは問題視されない傾きも屢々あります。

しかしこれの經驗的、科學的研究が現在のコンクリート至上主義を完全に克服して、明日の建築構造の上に大きな光りを投げる事は必然だと思ひます。

ともかく、現在はその初期の實驗時代、過渡時代にある事は事實です。

ここに於けるトロッケン・ウムパウとはこの研究時代のトロッケンパウにおいてかなり主要なワキ役を演ずるものです。譯して、「トロッケンパウによる建築の改築」とでもいいませうか。

住宅の場合ですと、主要な柱のみを残し屋根もひどいところをのぞいてそのままで格子組をその両面に打ちつけ、これで全部の骨組を丈夫にすると同時に内外のトロッケンボードの下地に利用します。

この唯一の缺點としては壁が相當あつくなる事ですが、何にしる經費の點が、

川
喜
田
煉
七
郎



今迄のトロッケンバウよりも安いので利用の範圍は今後益々多くなると思ひます。(しかし、實際にぶつかると、古い部分との接合や換氣なぞの問題で新築の場合よりも相當の苦心を要します。

商店ですと、時にはそれが外面の急速な變更だけですまさせられますから、今迄の壁をそのまま使つて、(但し、ドライロッドを起さぬ様に、適當な換氣を考へねばなりません。)外面を張りあける場合もあります。つまりこの考へは前の建物を主要な支持材として、被覆だけを色々に工夫するといふ事になります變更が自由自在な事が時代と一緒に變轉して行く商店建築に最も適當だと考へます。

ここにあける小生設計の澁谷サワサキ商店も所謂トロッケン。ウムバウの一例で、全建築改造費は二千圓以内にすぎません。

前面の外壁には、今迄のアスベスト・スレートの代りに張ありけた板にトマテックスを一面に木ネジめとし、之れにシブを塗つておちつかせ、その上に上質のペイントをぬりました。ペイントの色にスカーレット・レーキを用ひましたので、建物の宣傳價値は正に百パーセントで、近所では『アカ色の店』として評判だそうです。

住宅が「住むための器械」ならば、商店は「賣るためのロボット」でせう

で、色と形が如何に美しくても、その内容が、よほどはつきり研究されて居ませんと、すぐ故障が出来たり動かなくなります。

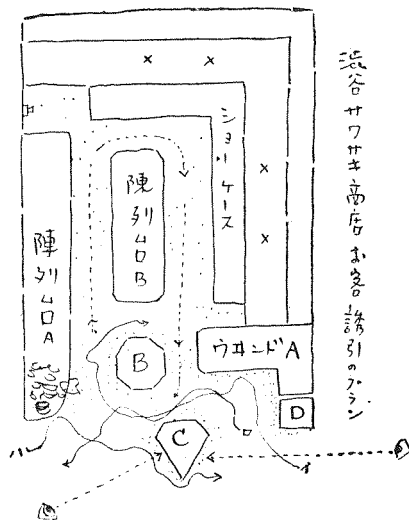
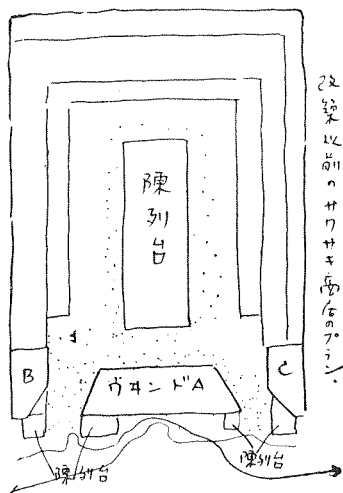
わがサワサキ商店のプランは圖の通りになつて居ます。ウキンドは全部形を變へて四個、Aが『型の固定式、Bが六角型のアイランド式、CとDが三角と四角の、「お客誘引用」の「移動式ウキンド」です。

左側には格安ものを一ぱいならべた、すぐ手にとれる様にならべた、陳列臺Aがあります。客は恰も海草の間を遊ぶ魚の様にこの色々なウキンドの間を通つて陳列臺Aに手を出すか店の中へ自然にはいるかします。

一昨夕店の前に立つて、ウキンドの前をさまよふ客の動くところを筆記して見ました。プランに出てゐるのがそれです。(イロハ)

この改造によつて、サワサキ商店の賣り上げは改造以前の店の約三倍になりました。

——改造前の店のプランとよくくらべて見て下さい。



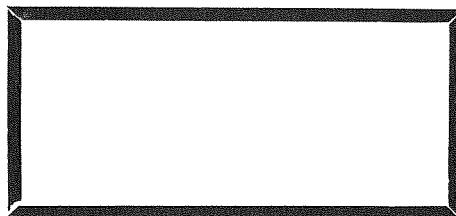
このウキンドは一名「容引きウキンド」といいます。夜、ことに遠くからあるいて来る

人々を引きつけゝるのに妙です。内部は出来るだけ明るくします。(終)

日本トロッケンバウ研究會

第一回講習會

トロッケン・モンターデュ・バウ即ち乾式組立構造について知りたいといふ要望が若い建築家の中には多くある、我々日本トロッケンバウ研究會の同人は是等の要望を滿たす爲と兼ねて同人の研究結果を發表して一般からの批判を仰ぐ爲に講習會を催すことになつた。



場 所 銀座三ツ喜ビル新建築工藝研究所
期 日 1月13日(火) 15日(木) 17日(土)
午後6時ヨリ9時

12月18日(日)見學

講習題目及講師

乾式構築實踐論	青山 忠雄
トロッケンバウの實驗的研究	市 浦 健
トロッケンバウの實例	土 浦 龜城
トロッケンバウの意匠	藏 田 周忠
乾式耐火構造の研究	牧 野 正巳
家具とトロッケンバウ	川喜田煉七郎
トロッケンバウについて	井 上 房一郎
會 費	¥ 1.5 0

